（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぷらす田迎			
○保護者評価実施期間	令和8年1月25日	～	令和8年2月5日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○従業者評価実施期間	年　月　日	～	年　月　日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○訪問先施設評価実施期間	年　月　日	～	年　月　日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）		（回答数）	
○事業者向け自己評価表作成日	年　月　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援ここぷらすを田迎ご利用のご利用者様の保育所等訪問支援へ伺っており、療育との連携が図れています	訪問支援の中で見えた課題を、事業所の職員に共有し、支援に活かしていけるようにしています	通所での利用が無い方についても、ご希望があれば受け入れを行っていきます
2	訪問時の記録は、お子様の様子や先生や友達との関わりについて具体的に記入するよう心掛け、園や学校での様子が詳しくわかるように対応しております	活動中や授業中だけではなく、色々な場面を見させていただくようにしております	訪問支援の対応の仕方など、お子様によって工夫し、お子様の負担にならないように先生方と話し合っていきます
3	児童発達支援から放課後デイサービスへ移行された後も保育所等訪問支援で連携を図っています	推測される本児の困り感について訪問先と一緒に考えて情報共有を行なっています	訪問支援の対応の仕方など、お子様によって工夫し、お子様の負担にならないように先生方と月末に訪問支援の振り返りを継続して行っていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園や学校の先生と、課題やねらいを共有する時間や会議などの共有できる場が少ないと感じます。	相談支援事業所の相談員を巻き込んでの実施が出来ていないことです。	ケース会議等を開く際は、園や学校の先生も含めて会議を行っていけるようにしていきます。また、訪問員のスキルアップの為、積極的に研修に参加します。加えて、グループ内の心理士などの専門職からの意見を求めるなど、チームで連携して支援させて頂きます。訪問先からの理解を得られるように、分かりやすくお子様の発達段階について説明します。
2	ご利用者によっては、訪問先の先生方の相談に対して助言がすぐに出来ていないこともあります。	お子様によっては発達の個人差もありますので、色々と事業所でも手立てを検討していく必要性があります。また、それぞれの立場からの思いや考えがあるかと思います。相談支援専門員と協力し、それぞれの役割を理解し、できることとできないことを明確にした上で訪問支援を開始することが重要です。	先生と更に連携をはかりながら、支援の検討していく必要があると考えています。また、訪問開始時は保護者の皆様から担任の先生に訪問利用の希望を伝えて頂き、事業所から説明を行った上で開始しておりますが、目的や支援方法などをより丁寧に説明していきます。